

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名大森俊和



下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者		経理責任者	
視察議員	大森俊和			
期 間	平成 30 年5月 10日（木 ）～平成 年 月 日（ ）			
視 察 先	広島市南区的場町1-1-25 ワークピア広島			
視 察 用 務	地方財政について			
視察先対応者	地方自治総合研究所・飛田博史研究員			
概要及び所見	<p>講演「地方自治・財政をめぐる所管」</p> <p>①、地方分権はいまどこに 通達－計画－成果の押しつけ 中央集権に逆戻り 地方創生政策の評価－地方にとって負担であるか96% 国からの統制が強まっている63%</p> <p>②、国の財政健全化は安倍政権では責任を持たない プライマリーバランスの黒字化は2027年度に先送り 2018年度予算の伸びは社会保障費と軍事費・17度補正予算に疑問</p> <p>③税制改正 小銭稼ぎの隠れ増税・国際観光旅客税400億・たばこ税等</p> <p>④実質は増税 高額医療費の自己負担増・生活保護費の削減・社会保障費の抑制</p> <p>⑤アベノミクスの崩壊</p> <p>⑥地方財政計画の見通し～2018骨太方針基金問題への対応</p> <p>⑦地方財政の充実・強化を求める意見書</p> <p>所管 公共の施設等の地方財政の措置があるが早急に統廃合に向けて走るのは過疎に拍車がかかり、地方衰退に繋がる、責任ある地方分権の確立が必要。</p>			